

IV 資料

1. 長崎大学ダイバーシティ推進センター研究紀要

長崎大学ダイバーシティ推進センターでは、今年度から、ダイバーシティに関わる研究を発展させていくことを目的に、その科学的知見を蓄積し、広く公開する『長崎大学ダイバーシティ推進センター研究紀要 (Diversity and Inclusion Research in NAGASAKI University)』を発行することになりました。

年1回発行とし、オンライン・ジャーナルの形態で公開します。

今年度は、6名の方からの投稿があり、3月末に発行しました。目次は以下の通りです。

原稿種別	原稿タイトル	執筆者
令和6年度 市民公開講座 講演記録	水産現場での多様な人材と働き方	竹下千代太
原著	長崎大学における女性研究者支援・ダイバーシティ推進の15年間の歩み	矢内琴江
活動報告	企業主導型保育園との連携 一文教おもやい保育園における「異文化交流の時間」 活動報告—	隈上麻衣、 シンプソン・シェリー・ヴィクトリア、 アデウイ・スンボ・オルダレ、 マンブ・ムビカ・ファブリス
第9回長崎大学未来に 羽ばたく女性研究者賞 受賞者 展望	奄美大島におけるエコツーリズムの持続可能な発展経路：今後の展望	王奕寧
	免疫複合体解析による病態関連タンパク質の同定	相原希美
	東京電力福島第一原子力発電所事故で被災した住民との放射線リスクコミュニケーションに資する研究	松永妃都美

投稿規定の主な内容は以下の通りです。

【投稿者の資格】

- 1) 第一筆者もしくは責任筆者は、長崎大学教職員のうち、ダイバーシティ推進センターの各種委員会等の委員とする。
- 2) 共同執筆者は、1) の指導または協力による共同研究者（学内、学外を問わない）を含むことができる。
- 3) ダイバーシティ推進センター長が適切と認めた者。

【刊行・公開の形態】

- 1) 紙媒体での刊行は行わない。
- 2) 電子化公開（オンライン）のみとし、長崎大学学術研究成果リポジトリに掲載し、公開する。

【原稿の種類】

原稿の種類	内容
原著	適切な方法論に基づいて実施された研究・観察であり、独創性・新規性ともに科学的価値が認められる論文
展望	これまでの知見、研究業績を総括し、解説した論文
実践研究	テーマの実践について研究・観察された論文
活動報告	テーマの実践報告であり、他地域・分野で同様の事業・活動を展開する上で参考になる報告
資料	貴重な資料となるデータを有している論文
その他	上記のいずれにも該当しない原稿で、重要な内容を有しているもの。編集委員の判断により、適宜、「オピニオン」「書評」等のカテゴリーを設けることがある

2. ニュースレター (おもやい通信)

おもやい通信第57号 (令和6年4月発行)

NAGASAKI UNIV. 長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

おもやい通信 2024.4 Vol. 57

令和6年4月1日付でセンター長に就任いたしました。平成21年の「男女共同参画推進センター」としての開設以来、センターに属してこられた皆様のご思いと取組を基盤とし、長崎大学のダイバーシティ・イニシアティブ&インクルージョン室でさらに推進するため、心を込めて力を尽くす所存です。

ダイバーシティ推進センターは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究推進実現型プログラム(特種型)(先導型)」に採択され、その成果により、女性教職員割合が国立総合大学の中で初めて達成されました。この間、これまでセンターやスタッフのご尽力により、文政おもやい保育園が開設され、夏休みの児童保育実施、介護コンシェルジュの配置やガラーサポーターの育成、男性育休取得100%達成など高輝的な取組が展開されてきました。この流れを継ぎつつ、さらに皆様に向けて持続的・発見的なダイバーシティを実現するため、本格的なワーク・ライフサポートや働き方見直しを行い、組織的なキャリアサポートを進めるなど更なる関係性の高度化と組織改革促進を進めてまいります。

私の子育て時代は、夜10時まで延長保育をしてくださった保育園の先生方、そして小学校入学からの数々の壁を一層に乗り越えてくれた両親のおかげでは仕事も継続することができました。このように協働が育む一歩の個性化がキャリア形成できるのではなく、長崎大学のすべての女性、すべての教職員が十分に能力と特性を発揮し、活躍できる環境づくりに貢献したいと考えております。

私たちの大学は、多様な価値観、文化、考え方を、経験を持つ人々で構成されています。この多様性がその大学の強みであり、運動的な多様性を引き出すとともに、私たち自身をより強く、より高めてくれます。これらが当センターへの皆様のご支援とご協力な心よりお願い申し上げます。

ダイバーシティ推進センター長 門脇 知子

ウェルカムカフェのご案内

「長崎へようこそ」
新任教員・職員の方々や、在任教員・職員のみなが、大学のごことで分からないことや、地味のおすそ分け情報、仕事と生活の両立のこと等について自由に相談しながら交流します。
用意はダイバーシティでも、もちろん参加可能です。
新任の方も、在任の方も、教員・職員の皆さん大歓迎です。お子様と一緒にのご参加もどうぞ。

第1回 4月26日(金)12:00~13:00 オンライン
第2回 8月14日(火)18:00~19:30 近本キャンパス(レジデンス棟 階下ラウンジスペース)
第3回 8月22日(水)18:00~19:30 文政キャンパス(ダイバーシティ推進センター)

【申込】<https://forms.office.com/HVixt1Gxj7>

令和6年度ダイバーシティ推進学習プログラムSDセミナー

e-learning基礎編・管理編受講は必須です。教職員は必ず受講ください。SDセミナーは教職員の登録は少なくとも1回以上受講ください。

実施日時	実施方法	タイトル	講師
5月28日(火) 16:00-17:00	Zoom	ダイバーシティ・インクルージョン&クオリティの推進と本学	次内峰江華教授 (ダイバーシティ推進センター)
6月19日(水) 14:30-16:00	Zoom	留学生との関わりから学ぶ多文化共生	伊豆実有紀准教授 (留学生教育・支援センター)
7月18日(木) 13:00-14:15	Zoom	中堅リーダーのメンタリングと働きがい	林麗枝助教(経済学部)

※8月以降は随時更新します。

関係者以外取得を宣言

「長崎大学」理工系女性学生・卒業生のいま、動向

長崎大学(学長 永安 武)は、株式会社ワークライフバランスの「男性育休取得100%宣言」(<https://work-life-balance.menc.kukyu100/>)に署名し、新教職員の自発的参画(以下、自発)取得を推進することを宣言しました。令和4年度の本学の男性育休取得率は39%で、全国の17%、また「学術研究・専門・技術サービス集」の26%と比較すると高い数値です。今後さらにいっそう多くの男性職員が参加できるように、誰もが働きやすさ、力を発揮できる職場の実現をめざし、取組を進めてまいります。

病気の働き方改革シンポジウム

大学病院での働き方見直し推進プログラムを開始して、今年度で5年目を迎え、株式会社ワークライフバランスとの連携で(長崎県・長崎市提携)「令和5年度病院の働き方改革シンポジウム」を開催しました(令和5年2月28日(水)14:00~16:00 Zoom)。本学形式)今年度は、長崎大学病院の働き方改革の取組チームによる成果報告に加え、徳島大学病院の取組チームからもご発表いただきました。また、基盤事業(学術研究)の導入による働き方改革に貢献した本学病院心臓血管科における取組を対談形式で発表しました。4月から医師の働き方改革が実施されるということもあり、全国各地の医療従事者の皆様のご参加がさらに、さらにテレビ、新聞などでも報道されました。

当日の詳細は、当センターのホームページに掲載されている開催報告をご覧ください。

ダイバーシティ推進センター

研究者支援

おもやい保育園

事業

- 女性活躍推進のためのサポート
- 仕事とライフイベントとの両立支援
- ダイバーシティの環境づくり(研修、学内設備など)
- 相談(介護、育児、LGBTなど)

内閣府による「企業主導型保育事業(型別費・運営費)」の取組を完了し、文政キャンパス内に学内保育園を開設しています。令和6年度の0.1歳児の開設を準備しています。

【編集・発行】 国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター
TEL:095-831-1131 FAX:095-819-2889 E-mail:omoya@sd@nagasaki-u.ac.jp

おもやい通信第58号 (令和6年6月発行)

NAGASAKI UNIV. 長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

おもやい通信 2024.6 Vol. 58

ワークライフバランス・コンシェルジュが着任しました

はじめまして、西中 紗子(さし)と申します。ワークライフバランス(WLB)・コンシェルジュとして5月に着任いたしました。これまで約20年間、福祉の現場で発達障害のお子さんや重度心身障害者の療育に専攻士(介護福祉士)として携わってきました。中でも、感覚統合療法(OT)を軸に育まれた遊びの環境を、子どもたちの成長を促すことで、療育の統合がうまくいかない、次々にやってくる感覚の強弱を調整したり、感覚を取り入れる量を調節したりすることができず、混乱してしまうという状態を多く経験してきました。この特性を課題点と見る「注意散漫」「集中力がない」ということとは異なり、同じ特性でも、生活や仕事に活用できる能力と考える「障り人の行動を促進している」「空気を読みながらと見えることができます。この強みとつらさをどう調整するかという視点で、感覚を見直し「色々な字が読めてきました。物事や出来事、状況などの感情(プログラム)を覚えることで、別の視点で考えたり(リフレーミング)ができるようになってきました。

ここダイバーシティ推進センターでは、教職員・学生の皆さんの多様な意見を人と相談し、解決に向けて一緒に方法を探していく、そんな環境です。個別子育てや自発的なイベントには是非の参加を促している皆さん、少しでも多くの情報をお伝えできるよう、私自身も勉強してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

※感覚・五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)に加え、腸内環境や「腸脳相関」といった感覚があります。これから少しずつ紹介していけたら、と思っています。

ウェルカムカフェを開催しました

今年も新任教職員と在任教職員の間でのウェルカムカフェをオンラインと対面で開催しました(4/26、5/14、5/22)。今年度は、久しぶりにオンラインでも実施しました。全て合わせて延べ33名の参加がありました。

皆さんからは、女性研究者が中心となった共同研究を応援する取組があったらいいという要望や、海外から来た新任教職員に英語のサポートの場所などを紹介したい、お互いの趣味を紹介したい、在任者どうしでも行き先や飲食店を紹介したいなど、距離や年齢も関係なく交流し、和気あいあいな雰囲気でした。

終了後は、お互いの連絡先を交換するなどし、今後も気軽に相談し合えるきっかけづくりの場となりました。

介護学、障がい者福祉と当センター

ワークライフバランス・コンシェルジュの2人体制で個別に相談いたします。下記QRコードよりお申し込み下さい。

【日 時】 7月19日(金) 予約制
【場所】 長崎大学 教職員 中央診療棟1階
【対 象】 中央診療棟1階 メディカル・ワークライフバランスセンター推進課 2人体制で個別に相談いたします。
【申込先】 メディカル・ワークライフバランスセンター (095-819-7979)(内線 7979)

自費を減らすためのポイント

7/19、11/19

【編集・発行】 国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター
TEL:095-831-1131 FAX:095-819-2889 E-mail:omoya@sd@nagasaki-u.ac.jp

ダイバーシティ推進学習プログラムSDを開催しています

詳しくはダイバーシティ推進センターHPで!

日	実施日時	テーマ	講師	実施方法	備考
第3回	7月18日(木) 13:00-14:15	中堅リーダーのメンタリングと働きがい	林麗枝 助教 (経済学部)	Zoom	事前申込
第4回	8月1日(木) 14:30-16:00	男性の後継つ	竹野綾二 氏 国立成育医療研究センター研究開発部 教授 科学学研究部 部長	Zoom	一般参加 OK
第5回	9月11日(水) 14:30-16:00	仕事とライフイベントの両立セミナー「元気力50代からの働き方」 人生会議、元気力50代から手帳	土屋和洋 氏 長崎県医師会理事	Zoom	一般参加 OK

※第1-2回は実施済

第9回「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」に応募しませんか

優れた研究成果を挙げた若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、優秀な女性研究者の育成、男女共同参画を促進するために創設しました。

今年度、博士後期課程・博士課程の大学院生(教員を除く)の女性研究者で、多くの女性研究者の方の応募をお待ちしております。

【募集期間】 令和6年6月3日(月)~8月19日(月)正午必着
【対象】 本学において研究を行う本学所属の50歳以下(令和6年4月1日時点で50歳未満)の博士後期課程・博士課程の大学院生(教員を除く)の女性研究者で、かつ、ダイバーシティ推進に興味がある、もしくは視点を持つ者
【賞】 優秀女性研究者賞(正賞:賞状 副賞:研究費) 優秀女性研究員賞(正賞:賞状 副賞:研究費) 優秀次世代女性研究者賞(正賞:賞状 副賞:研究費)
【選考結果発表】 令和6年11月頃

おもやい保育園の畑(センター横)、実ってます!

おもやいキッズ実家の申請について

啓発について、昨年度、夏休み期間中に長崎大学に勤務する教職員の子ども(小・中学校)から6歳児の児童を対象に学内保育園「おもやいキッズ」を実施していただきましたが、今年度の開催は中止しました。理由としては、本学の運営費としており、本年度学芸の機会としての利用の希望が増えていること、また地域の育児状況も改善され、子育ても充実していることなどを鑑み、おもやいキッズの再行に際しては、引き続き検討いたします。ご協力のごほうじょうをお願いいたします。本センターでは、今後も教職員のみならず子育てと仕事の両立を支援してまいります。

【編集・発行】 国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター
TEL:095-831-1131 FAX:095-819-2889 E-mail:omoya@sd@nagasaki-u.ac.jp

おもやい通信第61号 (令和7年2月発行)

長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

—おもやい通信— 2025.2 Vol. 61

「JSTダイバーシティ研究推進実現イニシアティブ(先進型)継続報告会 新たなステージに進むために」の開催

本学におけるダイバーシティ推進の取組の成果を報告します。本学が令和7年度に文科系研究費より採択されたJSTダイバーシティ研究推進実現イニシアティブ(先進型)は今年度が最終年度です。現在、本学は本事業のすべての目標値を達成し、国立総合大学が中心となる教職員組合が中心です。つきましては、上記の通り、本事業を継続し、さらなるダイバーシティ推進のための課題と取組を報告する継続報告会を開催いたします。本学の多様な研究者、教員、スタッフとともに、今年度もより議論いたします。本学の多様な研究者、教員、スタッフとともに、今年度もより議論いたします。本学の多様な研究者、教員、スタッフとともに、今年度もより議論いたします。

ぜひご参加ください。

【日時】 令和7年3月6日(木)14:00～16:10
【実施方法】 Zoomによるオンライン形式
【対象】 大学教職員、学生、一般(どなたでも)
【参加費】 無料
【申込詳細】 <http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/event/26718/>
cdi@cdi.nagasaki-u.ac.jp

新たなステージに進むために

3月6日

14:00～16:10

Zoomによるオンライン形式

参加費 無料

申込詳細 <http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/event/26718/>

申込先 cdi@cdi.nagasaki-u.ac.jp

【プロフィール】

- 1) 事業推進とその意義
- 2) 女性研究者たちと考える新しい研究力とリーダーシップ
- 3) 病院が抱える働き方の変革

SDセミナー報告:キャンパス・ハラスメントの実態と防止対策-様々な人がすばきこと、大学がすばきこと

令和7年1月29日にダイバーシティ推進実務プログラムSDセミナーは、広島大学ハラスメント相談室 北村先生による講演を収録いたしました。広島大学ハラスメント相談室は、相談室の専任教員による調整機能を充実させ、非常に先進的な体制となっています。北村先生からは大学の枠で起こるさまざまなハラスメントの実態とその対応方法についてお話しいただきました。

セクシュアルハラスメントとは、「仕事や学校などの関係の中で、その立場を利用して、相手が無断に性的な言動をすること」と説明され、再発防止として男性教員と女子学生の場合だけでなく、学生同士の関わりも認められました。

次にパワーハラスメントは、「優越的な立場(上司部下だけでなく)を背景にした言動で、業務上必要な範囲を超えたものにより労働者の健康被害が著されるものと認められ、その大学層として、アカデミックハラスメントがあると同様に、アカデミックハラスメントについて、文系・理系で生じる問題も異なるため、それぞれに具体例が紹介されました。

さらに近年、大学でも問題となつてくるカモフラージュハラスメント(お茶・学生、保護者、患者等からの悪質な苦情)についてもお話しいただきました。

最後に、こうした問題を起こさないために教員一人ひとりが意識した工夫がすばきことと同時に、被害を受けた時の対応は、さうに組織としての対応や相談体制について説明がありました。

現在、セミナーの内容は、学内限定で見直し・配信されています。

おもやい通信 Vol.61

長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

—おもやい通信— 2025.2 Vol. 61

SDセミナー 仕事に「ライフイベント」の両立セミナーを開催します

【日時】 2月27日(木) 14:00～15:30
【講師】 奥田 敦彦(あつこ)氏
【利用対象】 長崎大学病院 教職員・学生一般
【開催方法】 Zoomによるオンライン形式
【会場】 長崎大学病院がん診療センター
【問合せ先】 ダイバーシティ推進センター (内線 2889)

「がんを経験した看護婦が気付いてくれたおしごとのほなし」～ピアメイドであられる社会を目指して～」

今回のセミナーでは仕事しながら、がんの治療をこれら医療従事者と患者の両方の立場を経験された奥田敦彦先生から両者のワークライフバランスの実現をお話しします。是非、ご参加ください。

→申し込みはこちらからどうぞ

2/27(木)

14:00～15:30

Zoomによるオンライン形式

参加費 無料

申込詳細 <http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/event/26718/>

申込先 cdi@cdi.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学の教職員が、治療と仕事の両立に悩んでいるときには…

- ① 学内の相談窓口
ダイバーシティ推進センターでは、病休・看護・介護と両立についてどこに相談して良いかわからない「悩み」について知りたいたいなど、お気軽にご相談ください。ワークライフバランス・コンサルが対応いたします。
メール: cmovs.koudan@nagasaki-u.ac.jp
電話: 095-819-2889
- ② がん相談支援センター
学内の相談窓口です。
「どんな治療があるのか?」今後の生活はどうしたら良いのか?といった、がんに関する不安、悩み、心配を相談できます。
詳しくは [こちらからどうぞ](http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp)。

第9回 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞 受賞者発表会および授賞式 報告

選考委員会において選定された、優秀な女性研究者賞、優秀な女性奨励賞受賞者、優秀な女性研究奨励賞の3名を決定しました。受賞者発表会および授賞式は、令和7年2月23日、文芸キャンパス文芸ホールにおいて執り行われました。

それ以外の受賞者は次の通りです。王典華さん "A Study on Island Ecotourism Development Models Based on System Dynamics: A Case Study of Amami-Oshima Island"、藤原美生先生「免疫複合病に由来する神経変性タンパク質の病態」、松本紀都美先生「東の電力環境第一歩! 電力環境の持続可能な発展のための戦略的リスクコミュニケーションに関する研究」。

本学からは、受賞者への祝福とともに、受賞者が活躍を育む、ステージとして活躍していくことの期待と、今後大学として女性研究者をいっそう支援していくことが述べられました。

今後も女性研究者がその力を発揮し、広く活躍できるよう支援してまいります。

文芸おもやい保育園 園児募集

文芸おもやい保育園では、園児を募集しています。保育園の見学をご希望の方は、お気軽にダイバーシティ推進センターまでお問い合わせください。

●募集人数と年齢(2月1日時点)

- 0歳児クラス…0名
- 1歳児クラス…3名
- 2歳児クラス…1名
- 3歳児クラス…1名
- 4歳児クラス…1名
- 5歳児クラス…0名

2月3日に撮影のついでに行い、申し込みは募集定員までです。

おもやい通信 Vol.61

- 67 -

3. センター紹介パンフレット

ダイバーシティ推進センターでは、センターの活動を多くの方に知っていただくために、平成27年度にセンター紹介パンフレットを作成しました。その後、実施体制や活動の柱となる委員会の改編に伴い平成30年2月に、事業の見直し等に伴い令和4年2月、更に令和6年7月に改訂版を発行しました。ダイバーシティ推進センターの理念や運営方針をもとに行っているさまざまな事業内容や取組を分かりやすくまとめています。

※ダイバーシティ推進センターホームページに掲載し、気軽にご覧いただけるようにしています。

<主な内容>

- ・ダイバーシティ推進センターについて
- ・組織体制
- ・スタッフ紹介
- ・文教おもやい保育園
- ・研修・教育活動
- ・女性研究者のエンパワーメント
- ・研究支援
- ・相談窓口
- ・図書貸出
- ・出版物
- ・センター内設備
- ・アクセス



4. ダイバーシティ推進センター主催セミナー一覧

日 時		セミナー名	内 容
4月26日 5月14,22日	12:00～13:00 18:00～19:00	ウェルカムカフェ	※6
5月28日	16:00～17:00	学習プログラムSDセミナー	※1
6月19日	16:10～19:20	ケアラーサポーター育成研修	※3
6月19日	14:30～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
7月3日	16:10～17:40	ケアラーサポーター育成研修	※3
7月18日	13:00～14:15	学習プログラムSDセミナー	※1
8月1日	14:30～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
9月11日	14:00～15:30	仕事とライフイベントの両立セミナー 学習プログラムSDセミナー	※4
9月26日	14:30～15:30	ダイバーシティオンラインカフェ	※2
10月18日	14:30～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
11月6日	14:30～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
12月15日	10:30～12:30	市民公開講座 学習プログラムSDセミナー	※1
1月29日	16:00～17:30	学習プログラムSDセミナー	※1
2月27日	14:00～15:30	仕事とライフイベントの両立セミナー 学習プログラムSDセミナー	※4
3月6日	14:00～16:10	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型） 最終報告会	※5

※1 学習プログラム29-30頁参照

※2 女性研究者のネットワークづくり22頁参照

※3 ケアラーサポーター育成研修47-48頁参照

※4 仕事とライフイベントの両立に関するイベント45-46頁参照

※5 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）最終報告会35-36頁参照

※6 教職員の交流59頁参照

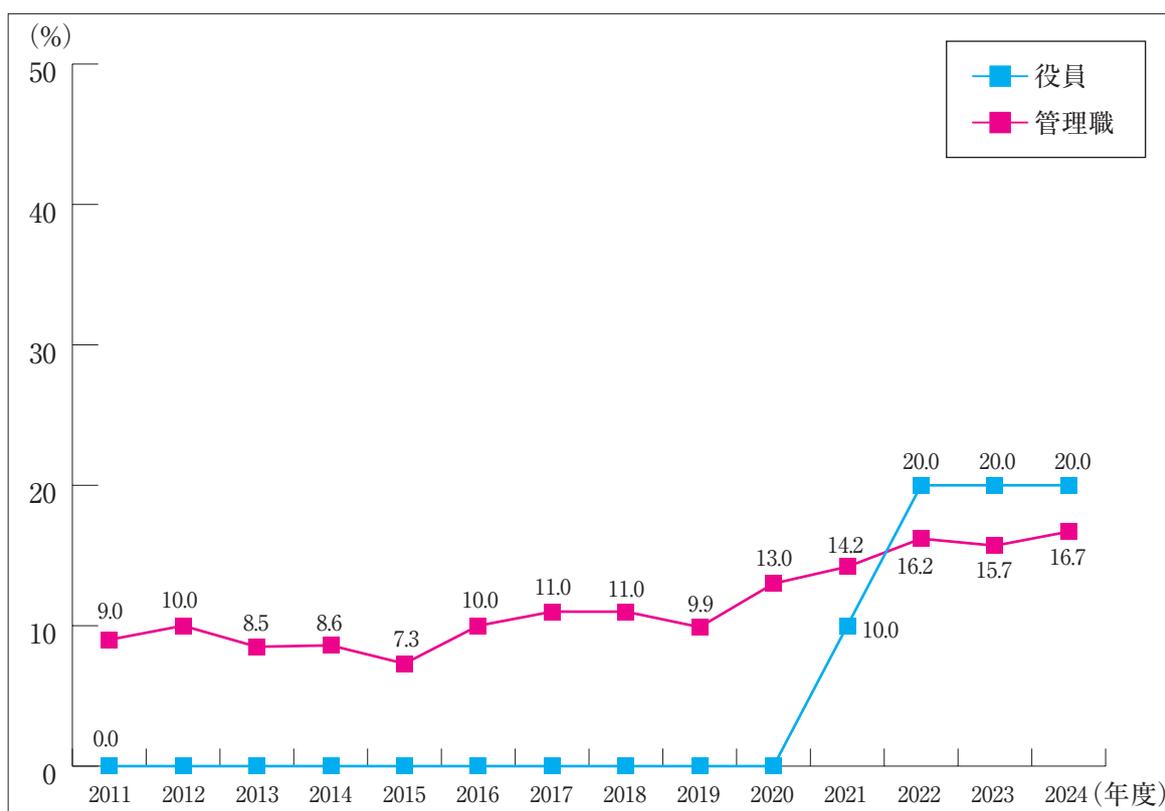
5. 長崎大学における女性教職員・研究者・学生に関わる基礎データ

- 5-1 女性教職員の役員・管理職在職率の推移（2011年度～2024年度）
- 5-2 女性教員採用率の推移（2006年度～2024年度）
- 5-3 女性教員在籍比率の推移（2011年度～2024年度）
- 5-4 部局別女性教員数および比率（2024年度）
- 5-5 部局別女性教員数および比率（2023年度）
- 5-6 部局別女性教職員比率の推移
- 5-7 女性研究者科研費新規採択状況
- 5-8 長崎大学における女子学生の学部・研究科別比率
- 5-9 長崎大学における女子学生の学部・研究科別比率（グラフ）

5-1 女性教職員の役員・管理職在職率の推移 (2011年度～2024年度)

2024年5月1日現在

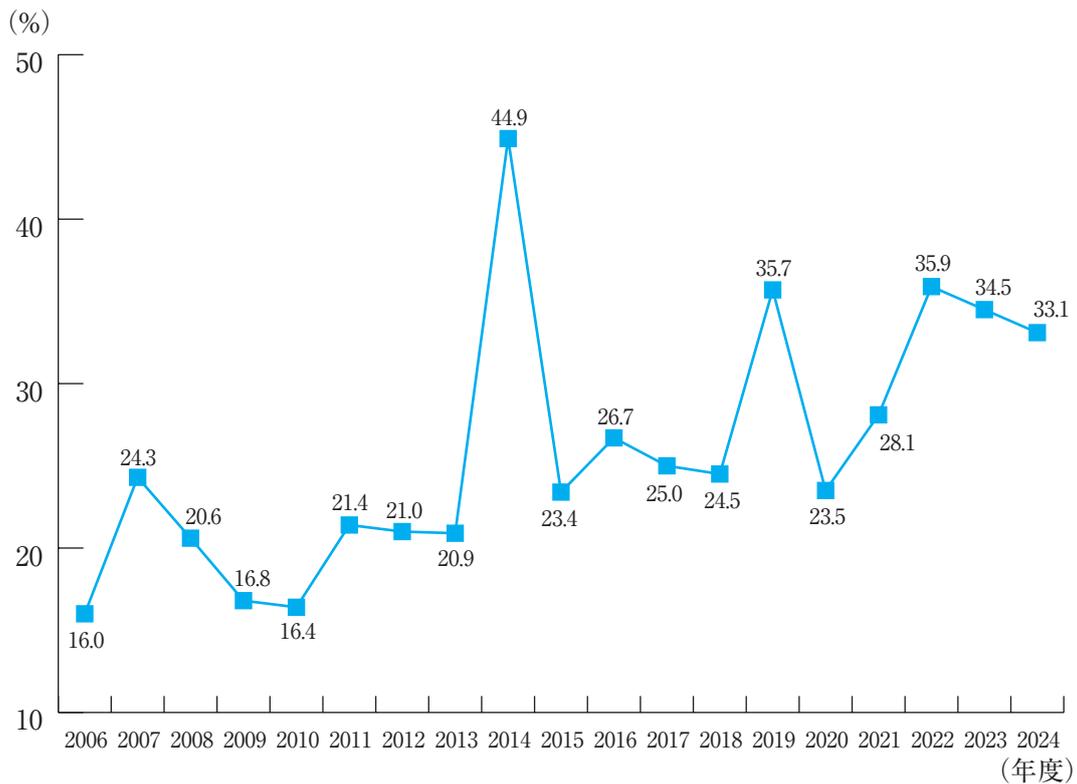
年度	役員				管理職			
	男性(人数)	女性(人数)	合計	女性比率(%)	男性(人数)	女性(人数)	合計	女性比率(%)
2011	9	0	9	0.0	71	7	78	9.0
2012	9	0	9	0.0	72	8	80	10.0
2013	9	0	9	0.0	75	7	82	8.5
2014	9	0	9	0.0	74	7	81	8.6
2015	9	0	9	0.0	76	6	82	7.3
2016	9	0	9	0.0	72	8	80	10.0
2017	9	0	9	0.0	73	9	82	11.0
2018	9	0	9	0.0	81	10	91	11.0
2019	9	0	9	0.0	82	9	91	9.9
2020	10	0	10	0.0	94	14	108	13.0
2021	9	1	10	10.0	91	15	106	14.2
2022	8	2	10	20.0	83	16	99	16.2
2023	8	2	10	20.0	86	16	102	15.7
2024	8	2	10	20.0	95	19	114	16.7



5-2 女性教員採用率の推移 (2006年度～2024年度)

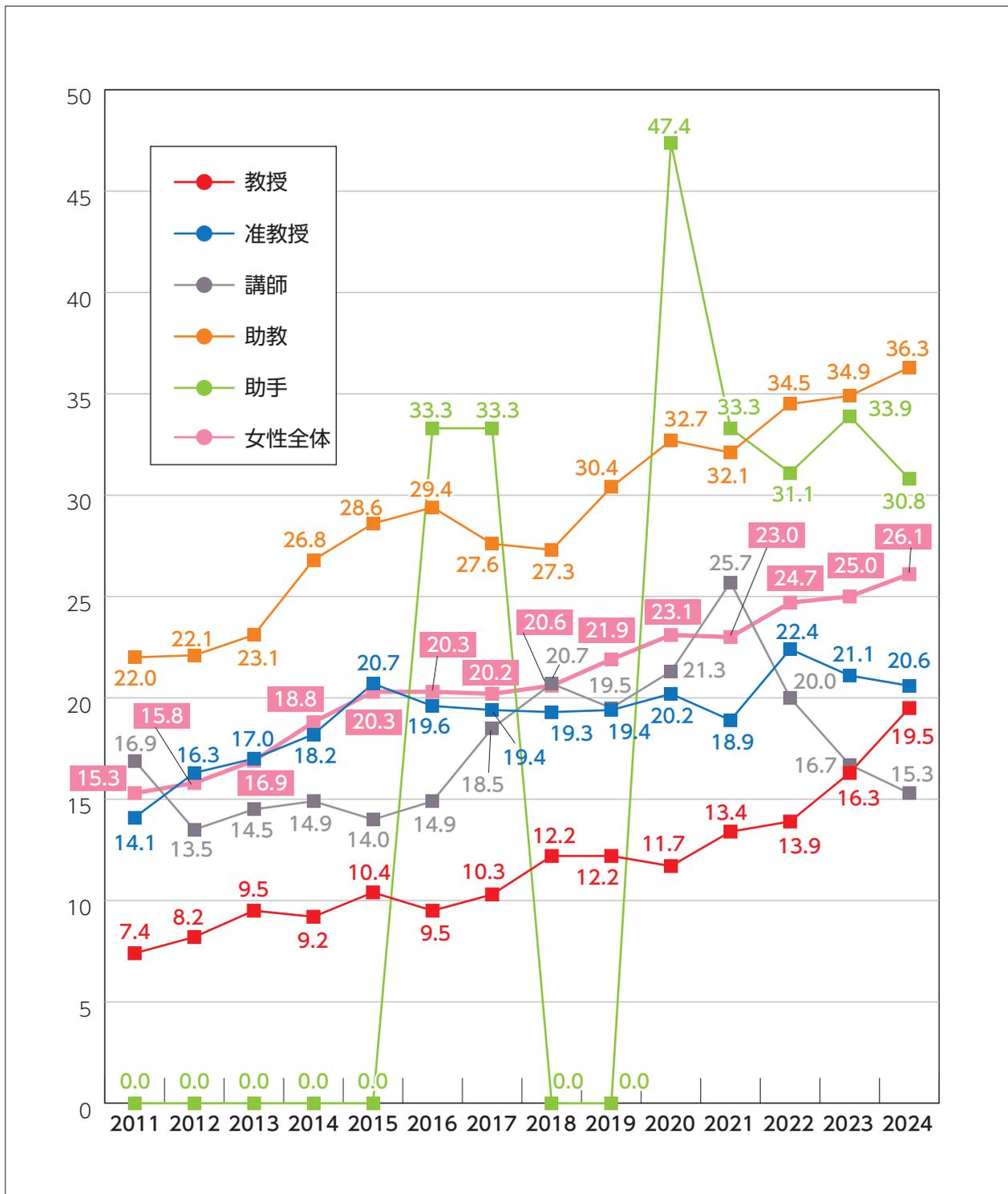
2025年2月1日現在

年度	男性 (人数)	女性 (人数)	合計	女性比率 (%)
2006	79	15	94	16.0
2007	87	28	115	24.3
2008	85	22	107	20.6
2009	104	21	125	16.8
2010	102	20	122	16.4
2011	92	25	117	21.4
2012	128	34	162	21.0
2013	136	36	172	20.9
2014	87	71	158	44.9
2015	121	37	158	23.4
2016	110	40	150	26.7
2017	90	30	120	25.0
2018	117	38	155	24.5
2019	92	51	143	35.7
2020	104	32	136	23.5
2021	92	36	128	28.1
2022	98	55	153	35.9
2023	97	51	148	34.5
2024	109	54	163	33.1



5-3 女性教員在籍比率の推移 (2011年度～2024年度)

※女性教員比率：各年5月1日現在の女性教員数の比率（助手を含む）



5-4 部局別女性教員数および比率（2024年度）

2024年5月1日現在
朱書斜体は女性の内数
(人) (%)

	教授		准教授		講師		助教		助手		計	女性計	女性比率
	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女			
人文社会科学域（教育学系）	24	7	38	11	0	0	7	5	0	0	69	23	33.3
人文社会科学域（経済学系）	12	5	17	3	2	1	6	2	0	0	37	11	29.7
人文社会科学域（多文化社会学系）	8	3	12	2	0	0	6	3	0	0	26	8	30.8
総合生産科学域	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
総合生産科学域（環境科学系）	20	3	17	4	0	0	2	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域（工学系）	31	5	36	3	0	0	22	1	1	0	90	9	10.0
総合生産科学域（水産学系）	18	1	13	6	0	0	5	1	0	0	36	8	22.2
総合生産科学域（情報データ科学系）	10	1	15	1	0	0	6	1	0	0	31	3	9.7
水産学部	1	0	4	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
生命医科学域	2	0	1	0	2	0	3	1	0	0	8	1	12.5
生命医科学域（医学系）	37	4	29	1	10	2	44	16	0	0	120	23	19.2
生命医科学域（歯学系）	14	3	19	6	0	0	35	13	0	0	68	22	32.4
生命医科学域（薬学系）	15	3	16	1	0	0	14	4	0	0	45	8	17.8
生命医科学域（保健学系）	19	7	13	5	0	0	21	16	0	0	53	28	52.8
生命医科学域（熱帯医学・グローバルヘルス系）	13	2	6	3	0	0	4	3	0	0	23	8	34.8
グローバル連携機構	2	1	2	1	0	0	2	1	0	0	6	3	50.0
研究開発推進機構	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	5	1	20.0
海洋未来イノベーション機構	6	1	2	0	0	0	1	0	0	0	9	1	11.1
熱帯医学研究所	16	2	11	1	0	0	34	18	0	0	61	21	34.4
原爆後障害医療研究所	10	2	6	1	0	0	17	8	0	0	33	11	33.3
病院	18	4	21	4	57	7	155	46	64	20	315	81	25.7
高度感染症研究センター（旧感染症共同研究拠点）	5	1	6	2	0	0	7	3	0	0	18	6	33.3
留学生教育・支援センター	0	0	2	2	0	0	2	1	0	0	4	3	75.0
保健センター	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	4	2	50.0
ICT基盤センター	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
教育開発推進機構	4	0	3	2	0	0	1	1	0	0	8	3	37.5
言語教育研究センター	5	2	1	0	1	1	6	2	0	0	13	5	38.5
核兵器廃絶研究センター	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5	2	40.0
ダイバーシティ推進センター	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0
先端創薬イノベーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
環境保全センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
放射線総合センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.0
感染症研究出島特区	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
* 広報戦略本部ほか	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
総計	303	59	306	63	72	11	405	147	65	20	1,151	300	26.1
女性比率	19.5		20.6		15.3		36.3		30.8				

* 広報戦略本部ほか：広報戦略本部、バイオセーフティ管理官室、障がい学生支援室、キャリアセンター

5-5 部局別女性教員数および比率（2023年度）

2023年5月1日現在
 朱書斜体は女性の内数
 (人) (%)

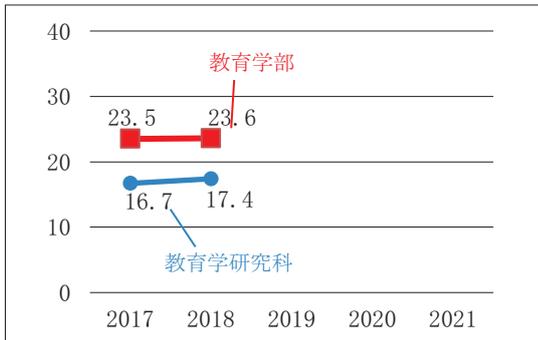
	教授		准教授		講師		助教		助手		計	女性計	女性比率
	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女			
人文社会科学域（教育学系）	25	6	37	11	0	0	5	4	0	0	67	21	31.3
人文社会科学域（経済学系）	14	4	19	4	2	1	6	3	0	0	41	12	29.3
人文社会科学域（多文化社会学系）	9	3	13	2	0	0	4	1	0	0	26	6	23.1
総合生産科学域（環境科学系）	18	2	20	5	0	0	1	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域（工学系）	30	5	38	3	0	0	21	0	1	0	90	8	8.9
総合生産科学域（水産学系）	21	1	14	6	0	0	4	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域（情報データ科学系）	11	1	12	0	0	0	6	1	0	0	29	2	6.9
水産学部	1	0	4	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
生命医科学域	4	0	1	0	2	0	2	1	0	0	9	1	11.1
生命医科学域（医学系）	38	3	33	3	10	1	45	16	0	0	126	23	18.3
生命医科学域（歯学系）	15	3	17	4	0	0	36	12	0	0	68	19	27.9
生命医科学域（薬学系）	15	2	16	1	0	0	13	4	0	0	44	7	15.9
生命医科学域（保健学系）	20	7	14	7	0	0	18	14	0	0	52	28	53.8
生命医科学域（熱帯医学・グローバルヘルス系）	12	2	5	2	0	0	6	5	0	0	23	9	39.1
グローバル連携機構	1	0	2	1	0	0	2	1	0	0	5	2	40.0
研究開発推進機構	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
海洋未来イノベーション機構	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
熱帯医学研究所	15	2	8	1	0	0	28	14	0	0	51	17	33.3
原爆後障害医療研究所	10	2	7	1	0	0	18	9	0	0	35	12	34.3
病院	18	3	17	3	57	9	166	48	58	20	316	83	26.3
高度感染症研究センター（旧感染症共同研究拠点）	6	1	6	2	0	0	5	2	0	0	17	5	29.4
留学生教育・支援センター	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	3	3	100.0
保健センター	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	4	2	50.0
ICT基盤センター	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
教育開発推進機構	4	0	3	2	0	0	1	1	0	0	8	3	37.5
言語教育研究センター	5	2	1	0	1	1	7	3	0	0	14	6	42.9
核兵器廃絶研究センター	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
ダイバーシティ推進センター	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0
先端創薬イノベーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
環境保全センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
放射線総合センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.0
感染症研究出島特区	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0.0
*広報戦略本部ほか	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	5	1	20.0
総計	307	50	304	64	72	12	404	141	59	20	1,146	287	25.0
女性比率	16.3		21.1		16.7		34.9		33.9				

*広報戦略本部ほか: 広報戦略本部、バイオセーフティ管理官室、障がい学生支援室、キャリアセンター

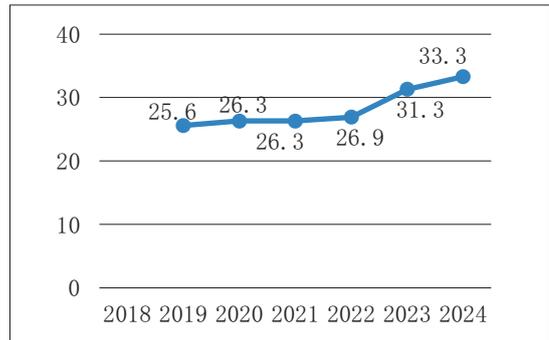
5-6 部局別女性教職員比率の推移

※女性教職員比率：各年5月1日現在の学部・研究科教員数における女性教職員数の比率（助手を含む）

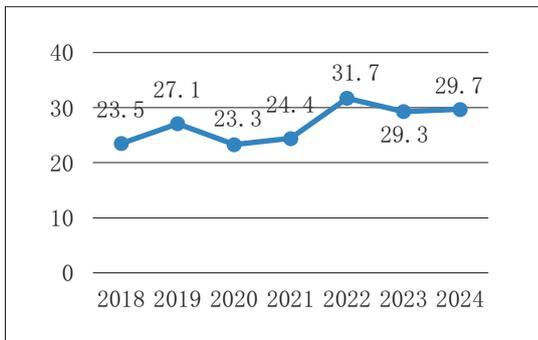
教育学研究科/教育学部



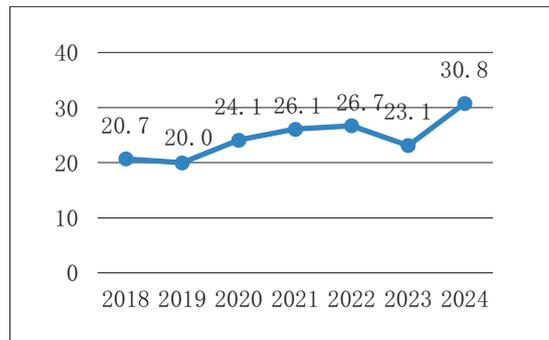
人文社会科学域（教育学系）



人文社会科学域（経済学系）



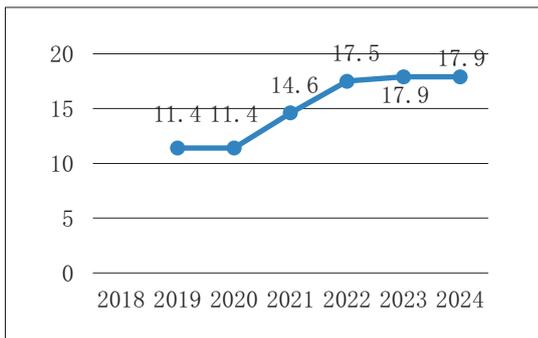
人文社会科学域（多文化社会学系）



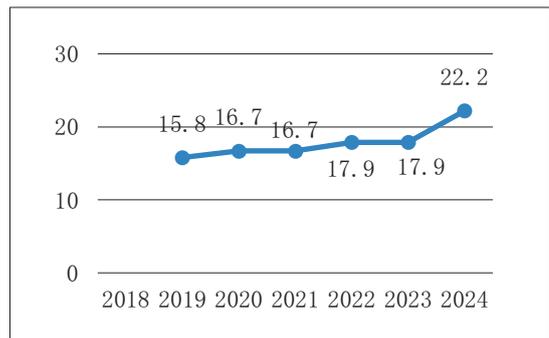
2019年に学域が設置され、教育学部・教育学研究科、経済学部、多文化社会学部の教員は人文社会科学域に配置換となりました。

2019年に学域が設置され、水産学部、水産・環境科学総合研究科、工学研究科の教員は総合生産科学域に配置換となりました。

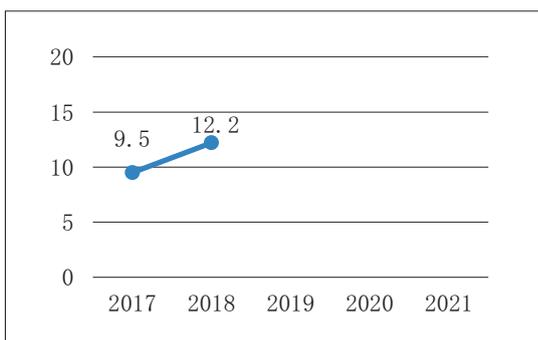
総合生産学域（環境科学系）



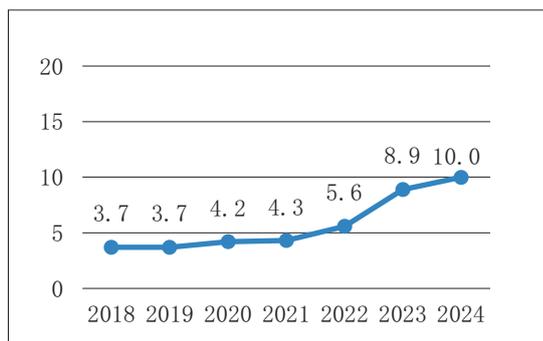
総合生産科学域（水産学系）



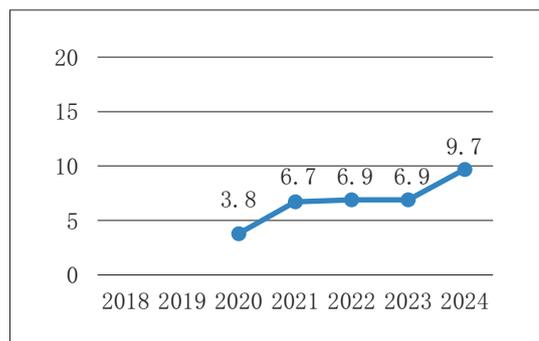
水産・環境科学総合研究科



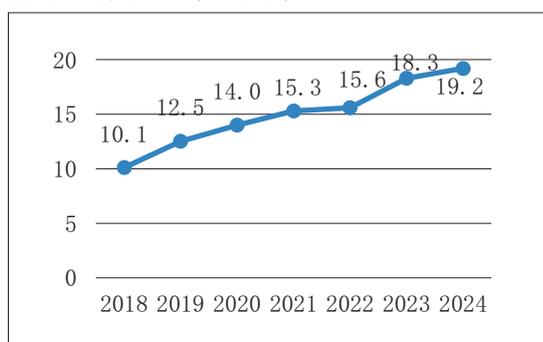
総合生産科学域（工学系）



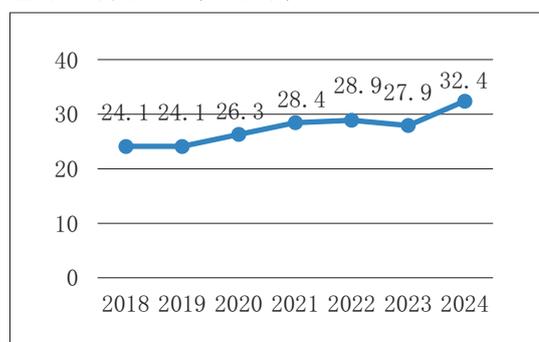
総合生産科学域（情報データ科学系）



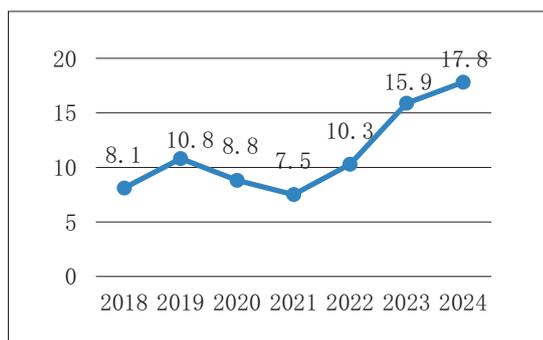
生命医科学域（医学系）



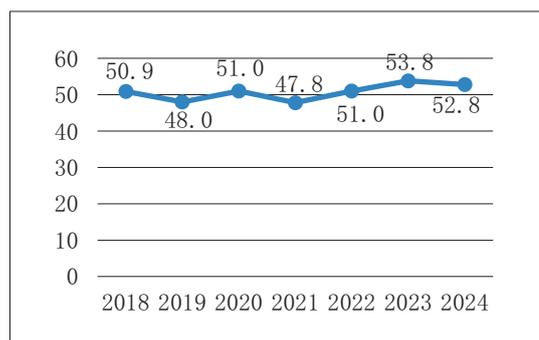
生命医科学域（歯学系）



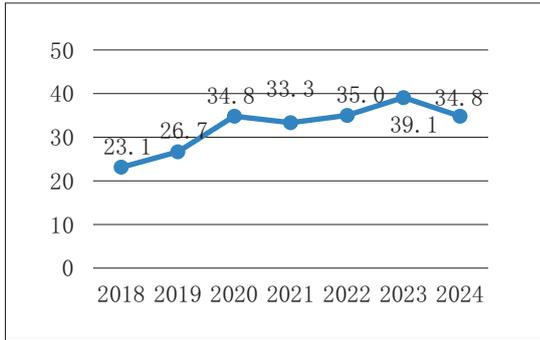
生命医科学域（薬学系）



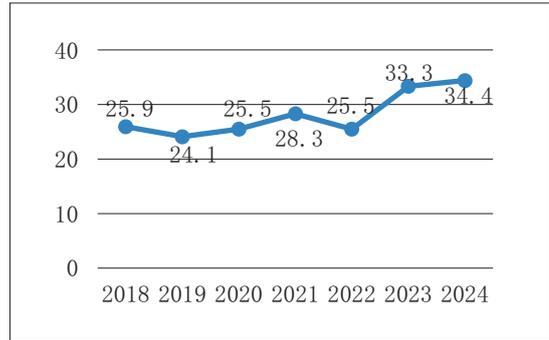
生命医科学域（保健学系）



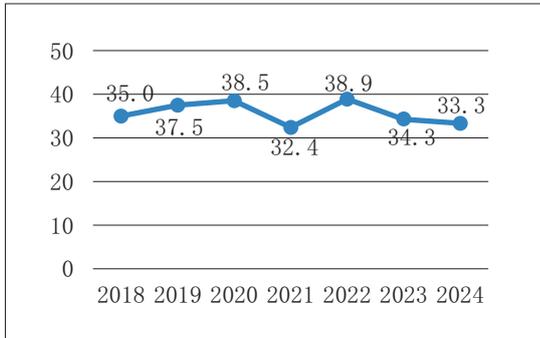
熱帯医学・グローバルヘルス研究科



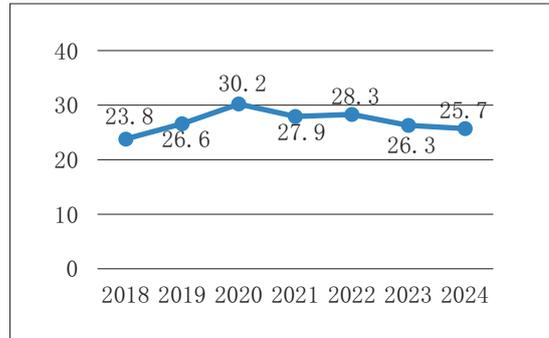
熱帯医学研究所



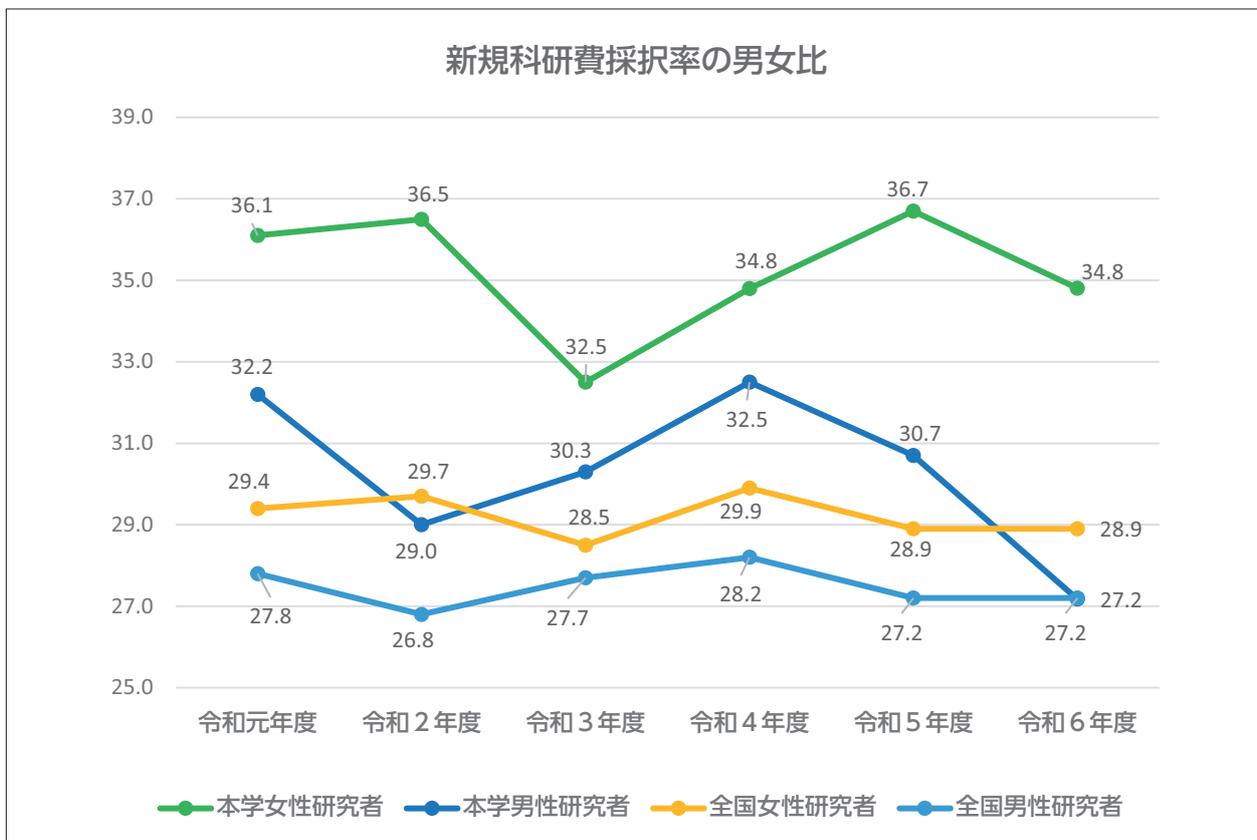
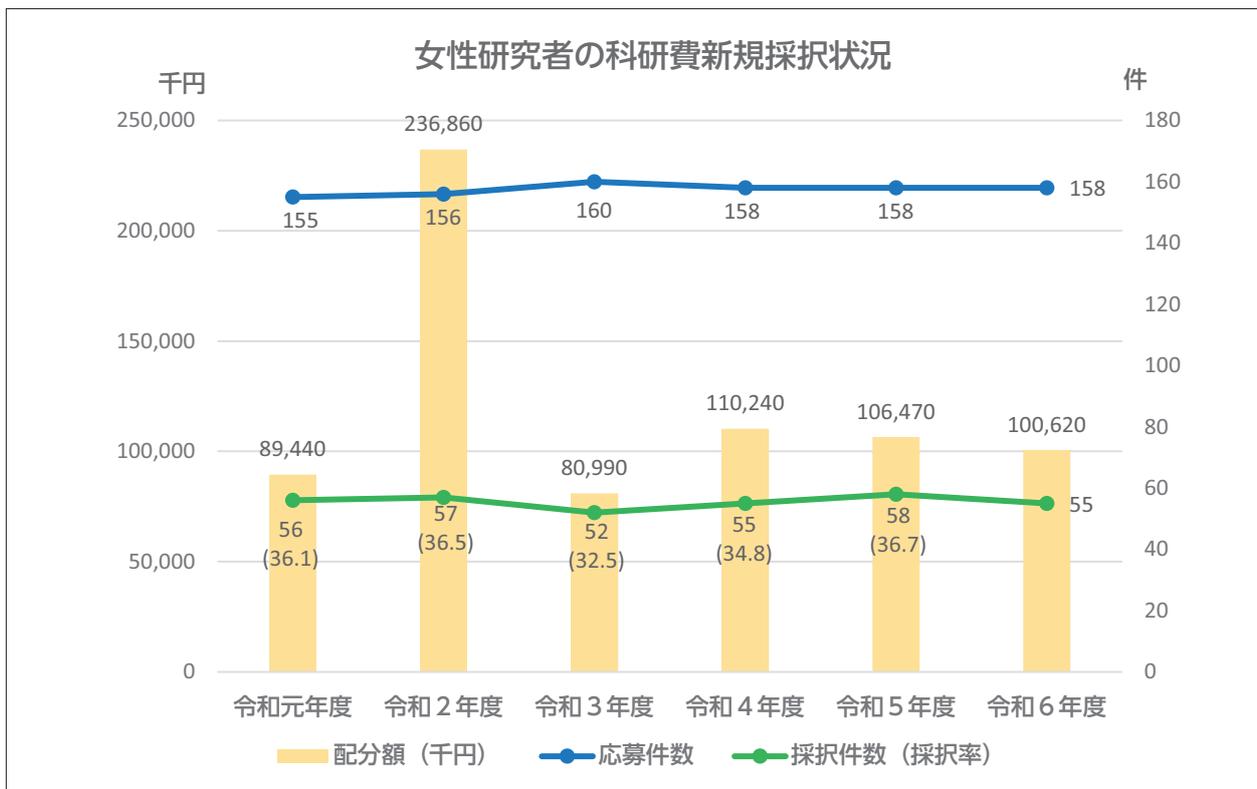
原爆後障害医療研究所



病院



5-7 女性研究者科研費新規採択状況



5-8 長崎大学における女子学生の学部・研究科別在籍比率

各年5月1日現在

学部学生

学部	2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024	
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率
多文化社会学部	369	71.8%	408	72.5%	435	72.9%	448	73.1%	454	73.2%	442	71.0%	455	73.2%	453	73.1%
教育学部	994	69.5%	982	68.9%	983	68.9%	929	67.1%	857	67.1%	796	65.6%	742	63.1%	734	60.5%
経済学部	1454	35.6%	1453	35.6%	1456	36.8%	1430	36.2%	1432	35.1%	1435	34.5%	1393	34.5%	1378	35.6%
医学部	1206	46.5%	1210	48.1%	1204	52.8%	1190	61.5%	1197	59.1%	1201	56.8%	1217	52.7%	1211	54.9%
歯学部	315	192	323	390.0%	313	185	128	40.9%	309	178	131	42.4%	311	169	147	47.0%
薬学部	432	237	426	195	45.1%	426	206	48.4%	422	225	197	46.7%	413	199	214	51.8%
情報学・工学部	1665	1456	1661	1449	212	12.8%	1650	1433	217	13.2%	1585	1365	220	13.9%	1530	1337
環境科学部	563	321	242	43.0%	568	330	238	41.8%	579	329	250	43.2%	570	326	244	42.8%
水産学部	483	348	135	28.0%	481	357	124	25.8%	476	354	122	25.6%	478	355	123	25.7%
総計	7481	4542	2939	39.3%	7502	4505	2997	39.9%	7504	4504	3000	40.0%	7488	4502	2986	39.9%

研究科（修士及び博士前期課程）

研究科名	2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024					
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率				
多文化社会学研究科	2018.4月より入学開始	-	11	4	7	63.6%	21	8	13	61.9%	22	10	12	54.5%	26	8	18	69.2%		
教育学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
経済学研究科	30	20	10	33.3%	34	22	12	35.3%	35	18	17	48.6%	30	16	14	46.7%	26	14	53.8%	
工学研究科	424	383	41	9.7%	454	404	50	11.0%	457	398	59	12.9%	439	396	43	9.8%	410	372	38	9.3%
水産・環境科学総合研究科	113	74	39	34.5%	104	62	42	40.4%	118	83	35	29.7%	114	88	26	22.8%	109	66	43	39.4%
総合生産科学研究科	0	0	0	0.0%	2018.4月	廃止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生産科学研究科	127	65	62	48.8%	125	63	62	49.6%	127	66	61	48.0%	129	61	68	52.7%	140	61	79	56.4%
医歯薬学総合研究科	51	23	28	54.9%	58	27	31	53.4%	67	30	37	55.2%	72	25	47	65.3%	73	27	46	63.0%
国際健康開発研究科	1	0	100.0%	2018.3月	廃止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	746	565	181	24.3%	786	582	204	26.0%	825	603	222	26.9%	806	596	210	26.1%	784	548	236	30.1%

研究科（博士及び博士後期課程）

研究科名	2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024					
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率				
多文化社会学研究科	-	-	-	-	2020.4月より入学開始	-	4	2	2	50.0%	7	3	4	57.1%	10	4	6	60.0%		
経済学研究科	14	8	6	42.9%	15	10	5	33.3%	13	7	6	46.2%	13	6	7	53.8%	13	8	5	38.5%
工学研究科	72	58	14	19.4%	72	61	11	15.3%	64	56	8	12.5%	60	51	9	15.0%	59	49	10	16.9%
水産・環境科学総合研究科	68	43	25	36.8%	60	35	25	41.7%	53	34	19	35.8%	46	26	20	43.5%	44	24	20	45.5%
総合生産科学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生産科学研究科	6	6	0	0.0%	2018.4月	廃止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医歯薬学総合研究科	572	364	208	36.4%	563	364	199	35.3%	555	359	196	35.3%	562	373	189	33.6%	567	377	190	33.5%
国際健康開発研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ブラスターヘルス学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	732	479	253	34.6%	710	470	240	33.8%	696	461	235	33.8%	705	467	238	33.8%	720	471	249	34.6%

専門職学位課程

教育学研究科	2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024					
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率				
計	0	0	0	0.0%	44	21	23	52.3%	51	30	21	41.2%	58	30	28	48.3%	53	24	29	54.7%

5-9 女子学生の学部・研究科別在籍比率の推移（グラフ）

各年5月1日現在

